

令和 6 年度

薩摩川内市自治会についての世帯意識調査集計結果

I 業務概要

1. 業務の目的

地域社会は、以前のまとまりを失い、人と人とのつながりが薄れつつあるが、このような時代にこそ、住民自治組織の確立と継続を図り、明るく住み良い地域づくりを行うことが望まれている。

本業務では、自治会未加入者の加入しない理由を浮き彫りにするとともに、自治会加入者はこれからも加入し続けられるように、自治会に起きている現状を把握し、自治会における課題解決の方法や自治会のあり方を模索すること及び今後のコミュニティ施策の推進のための基礎資料とすることを目的として、市民を対象にアンケート調査を実施した。

2. アンケート調査の対象及び調査方法等

調査対象 市内に居住している 18 歳以上の方の中から無作為に抽出した 3,000 人

調査方法 郵送配布・郵送回収・窓口回収及び WEB 回答

調査時期 令和 6 年 10 月 30 日～令和 6 年 11 月 18 日

3. アンケート調査の回答状況

配布数 3,000 票

回答数 1,091 票（紙：938 票 WEB：153 票）

回答率 36.4%

4. アンケート調査結果に関する留意事項

表中の構成比は、小数点以下第 2 位を四捨五入しており、そのため、各選択肢の構成比の合計が 100%にならない場合がある。

2 つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は 100%を超える場合がある。

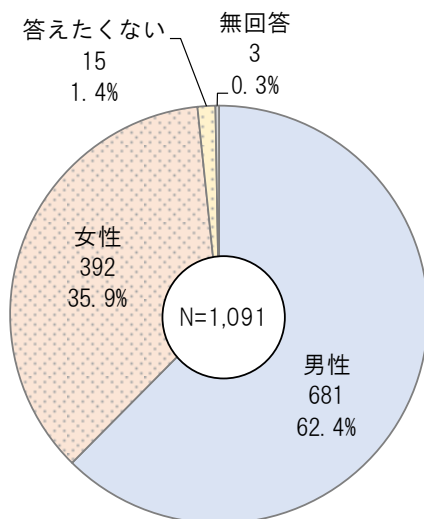
図表中の「N」は、比率算出上の基数（標本数）を表す記号である。「N」は全標本数ベースを示している。「N」は全標本数ベース、「n」は該当数ベースを示している。

Ⅱ アンケート調査の集計結果

1. あなた自身のことやお住まいについて

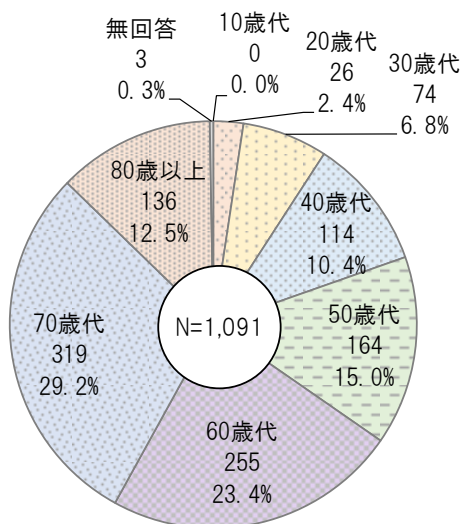
問1 あなたの性別を教えてください（あてはまる番号1つに○）。

「男性」が62.4%、「女性」が35.9%となっている。



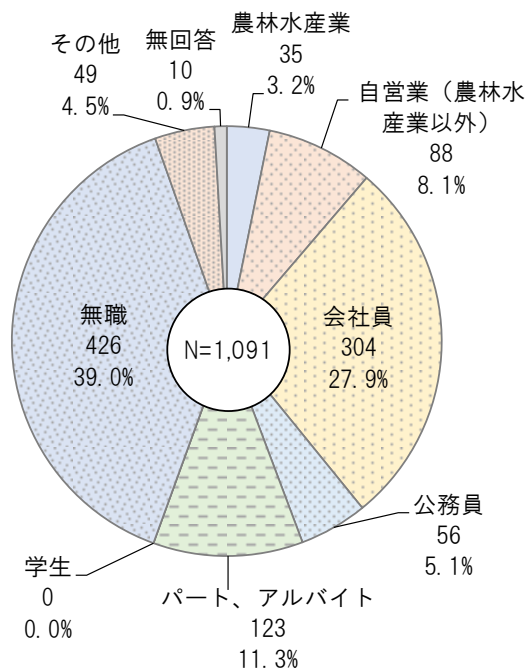
問2 あなたの年齢を教えてください（あてはまる番号1つに○）。

「70 歳代」が 29.2%で最も多い。次いで、「60 歳代 (23.4%)」「50 歳代 (15.0%)」となっている。



問3 あなたの主たる職業を教えてください（あてはまる番号1つに○）。

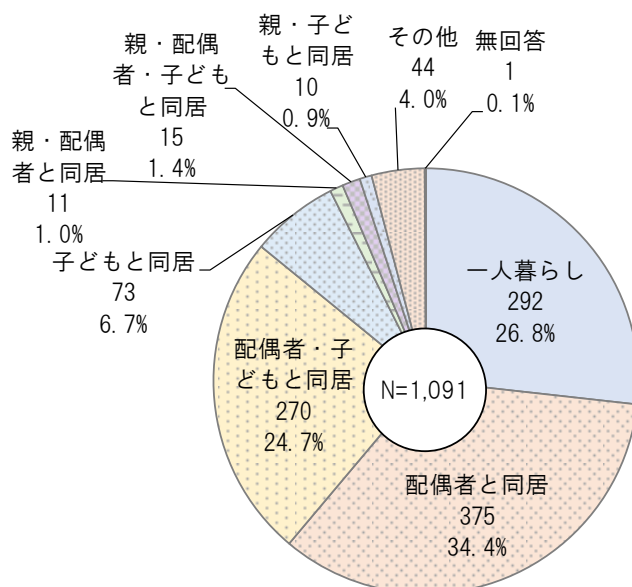
「無職」が39.0%で最も多い。次いで、「会社員（27.9%）」「パート、アルバイト（11.3%）」となっている。



その他の意見	件数
会社役員	5
主婦	5
団体職員	3
アパート経営	1
医療関係の技師と薬局の会長	1
医療従事者	1
会計年度任用職員	1
建設業	1
個人事業主	1
コミニ役	1
従業員	1
シルバー	1
清掃員	1
団体嘱託	1
派遣社員	1
ハンドクラフト	1
非常勤	1
福祉施設職員	1
野菜作り	1
契約職員	1
保険業	1

問4 あなたの世帯の構成を教えてください（あてはまる番号1つに○）。

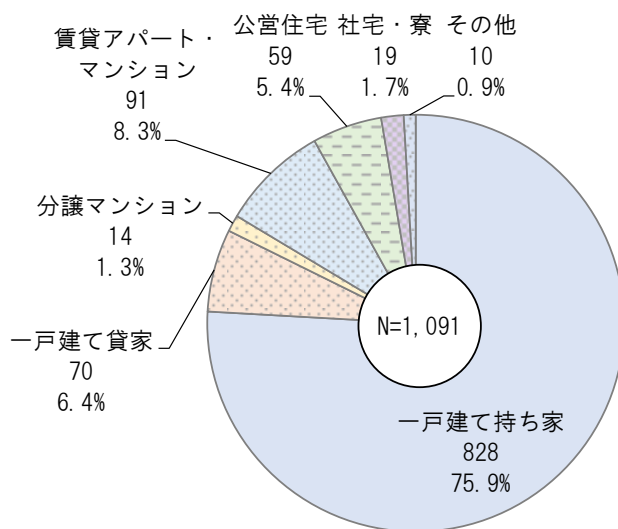
「配偶者・子どもと同居」が34.4%で最も多い。次いで、「一人暮らし(26.8%)」「配偶者・子どもと同居(24.7%)」となっている。



その他の意見	件数
親と同居	22
弟と同居	2
兄弟と同居	2
姉妹と同居	2
妹と同居	1
兄妹と同居	1
配偶者とペット	1
姉夫婦と同居	1
夫、入院中	1
親、子ども、兄夫婦子ども、祖母2人	1
子ども夫婦と孫	1
施設入所	1
配偶者、子ども、孫と同居	1
他の人がいたりいなかったり	1
配偶者、子供と別居（単身赴任）	1

問5 あなたがお住まいの住居の種類を教えてください（あてはまる番号1つに○）。

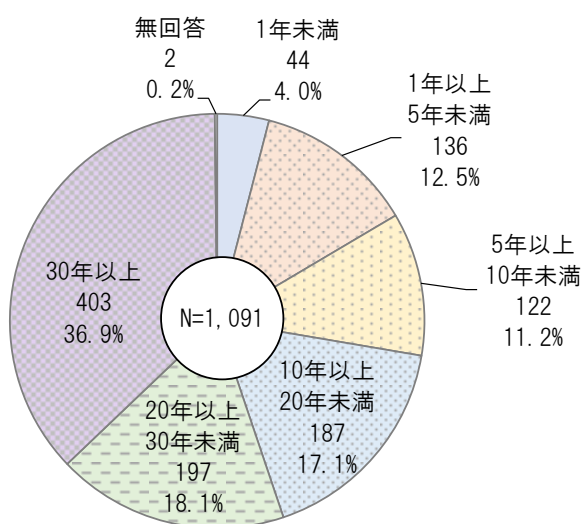
「一戸建て持ち家」が75.9%で最も多い。次いで、「賃貸アパート・マンション（8.3%）」「一戸建て貸家（6.4%）」となっている。



その他の意見	件数
二世帯住宅一戸建て	1
親の持ち家	1
長男の持ち家	1
介護施設	1
実家	1
仮り家	1

問6 あなたの現在の住所地での居住年数を教えてください（あてはまる番号1つに○）。

「30年以上」が36.9%で最も多い。次いで、「20年以上30年未満（18.1%）」「10年以上20年未満（17.1%）」となっている。



問7 あなたは近隣住民との程度までお付き合いしていますか（あてはまる番号1つに○）。

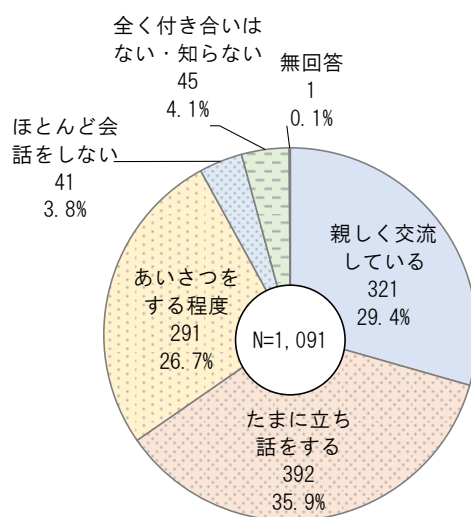
「たまに立ち話をする」が35.9%で最も多い。次いで、「親しく交流している（29.4%）」「あいさつをする程度（26.7%）」となっている。

年齢別でみると、20～40歳代は「あいさつをする程度」、50～60歳代は「たまに立ち話をする」、70歳代以上は「親しく交流している」が多く、年齢が上がるにつれて、交流の密度が高くなっている。20歳代は、他の年齢と比べると「全く付き合いはない・知らない」が多くなっている。

住居の種類別でみると、「一戸建て」は「たまに立ち話をする」が他の住居の種類と比べると多くなっている。特に「一戸建て持ち家」は、「親しく交流している」も他の住居の種類と比べると多く、交流の密度が高くなっている。一方で、それ以外の住居の種類は「あいさつをする程度」が多いが、「賃貸アパート・マンション」については、「全く付き合いはない・知らない」が他の住居の種類と比べると多くなっている。

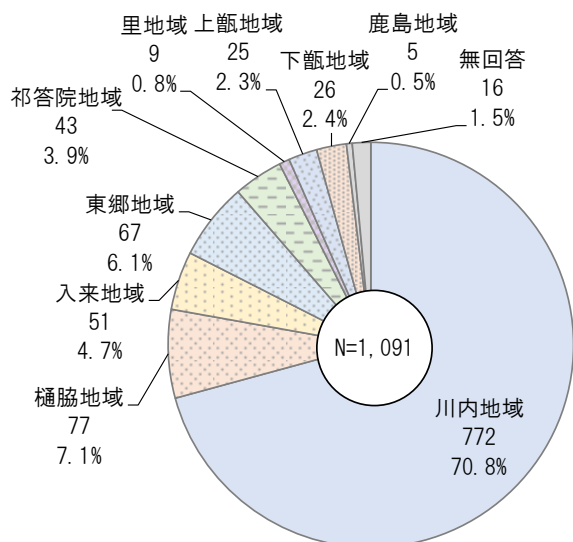
居住年数別でみると、5年未満は「あいさつをする程度」、30年未満は「たまに立ち話をする」、30年以上は「親しく交流している」が多く、居住年数が上がるにつれて、交流の密度が高くなっている。「1年未満」は、他の居住年数と比べると「全く付き合いはない・知らない」が多くなっている。

居住地域別でみると、「里地域」「祁答院地域」は、他の居住地域と比べると「親しく交流している」が多くなっている。



問8 あなたがお住まいの地域を教えてください（あてはまる番号1つに○）。

「川内地域」が70.8%で最も多い。次いで、「樋脇地域（7.1%）」「東郷地域（6.1%）」となっている。



2. 地区コミュニティ協議会や自治会の活動について

問9 あなたがお住まいの地区にある「地区コミュニティ協議会」の活動をどの程度ご存じですか
(あてはまる番号1つに○)。

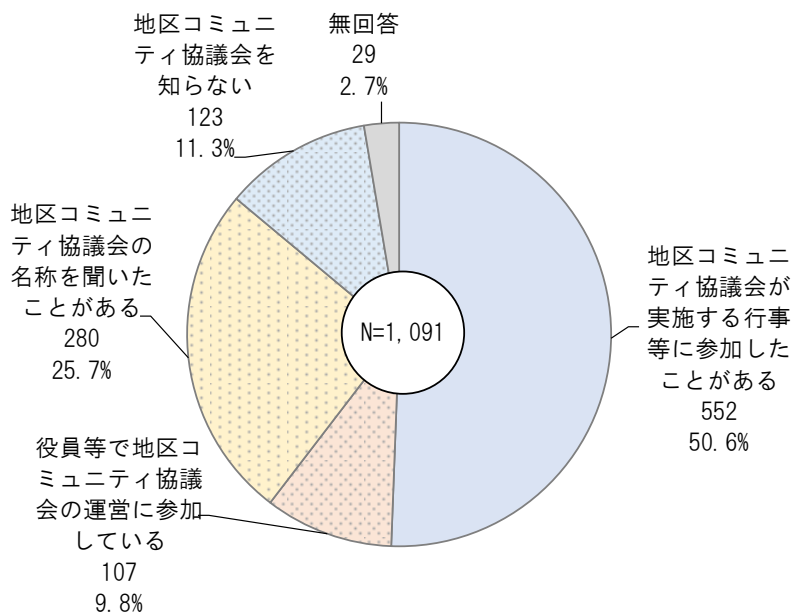
「地区コミュニティ協議会が実施する行事等に参加したことがある」が50.6%で最も多い。次いで、「地区コミュニティ協議会の名称を聞いたことがある(25.7%)」「地区コミュニティ協議会を知らない(11.3%)」となっている。

年齢別でみると、40歳代以上は「地区コミュニティ協議会が実施する行事等に参加したことがある」が30歳代以下より多く、「役員等で地区コミュニティ協議会の運営に参加している」も含めると、特に60歳代以上は地区コミュニティ協議会とのかかわりが深くなっている。一方で、30歳代以下は地区コミュニティ協議会の活動自体に参加したことがある人が少なく、特に20歳代は「地区コミュニティ協議会を知らない」が57.7%と存在自体を知らない人が多くなっている。

住居の種類別でみると、「一戸建て持ち家」「公営住宅」は「地区コミュニティ協議会が実施する行事等に参加したことがある」が多くなっている。一方で、「賃貸アパート・マンション」「社宅・寮」は、「地区コミュニティ協議会を知らない」が多くなっている。

居住年数別でみると、5年以上は「地区コミュニティ協議会が実施する行事等に参加したことがある」が多く、居住年数が上がるにつれて、地区コミュニティ協議会とのかかわりが深くなっている。一方で、5年未満は、地区コミュニティ協議会の活動自体に参加したことがある人が少なく、特に1年未満は「地区コミュニティ協議会を知らない」が54.5%と存在自体を知らない人が多くなっている。

居住地域別でみると、どの地域でも半数以上が地区コミュニティ協議会の活動に参加した経験を有しているが、地域間で比較すると「川内地域」「上甕地域」「入来地域」の順でその割合が低くなっている。



問 10 薩摩川内市が、「自治会」の

①日頃からの見守り、防犯・防災、環境美化活動

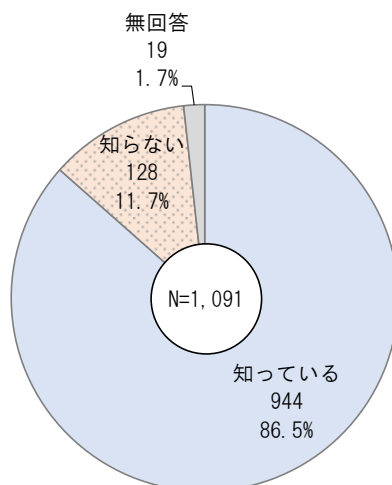
②いざというときの避難、被災復興活動

③交流・親睦による笑顔が生まれる活動

などが大切と考え、市民に「自治会」への加入を勧めていることをご存じですか（あてはまる番号1つに○）。

「知っている」が86.5%、「知らない」が11.7%となっている。

年齢別、住居の種類別、居住年数別、居住地域別のいずれも同様の傾向である。



問 11 あなた、もしくはあなたの世帯は、「自治会」に加入していますか（あてはまる番号1つに○）。

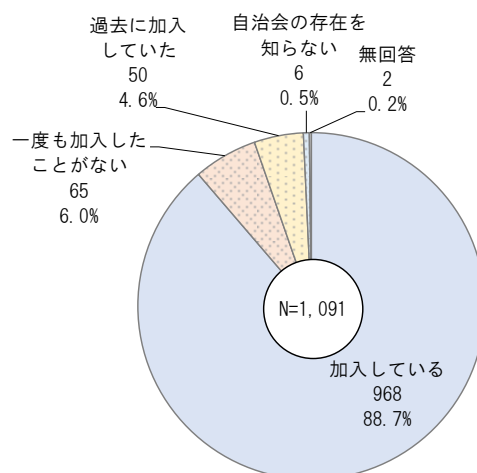
「加入している」が88.7%で最も多い。次いで、「一度も加入したことがない（6.0%）」「過去に加入していた（4.6%）」となっている。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「加入している」が多くなり、年齢が下がるにつれて「一度も加入したことがない」が多くなっており、30歳代は3割強、20歳代は5割が自治会に現在加入していない。

住居の種類別でみると、「一戸建て持ち家」「公営住宅」は「加入している」が9割を超えており、他の住居の種類と比べると多い。一方で、「賃貸アパート・マンション」は「加入している」が約5割にとどまっており、およそ半数が自治会に現在加入していない。また、「一戸建て貸家」は「過去に加入していた」が他の住居の種類と比べると多くなっている。

居住年数別でみると、居住年数が上がるにつれて「加入している」が多くなり、居住年数が下がるにつれて「一度も加入したことがない」が多くなっており、5年未満は3割強、1年未満は約5割が自治会に現在加入していない。

居住地域別でみると、どの地域でも「加入している」が多いが、地域間で比較すると「入来地域」「鹿島地域」「川内地域」の順でその割合が低くなっている。



【問 11 で「1 加入している」と回答された方におたずねします。】

問 12-1 自治会に加入したきっかけは何ですか（あてはまる番号 1 つに○）。

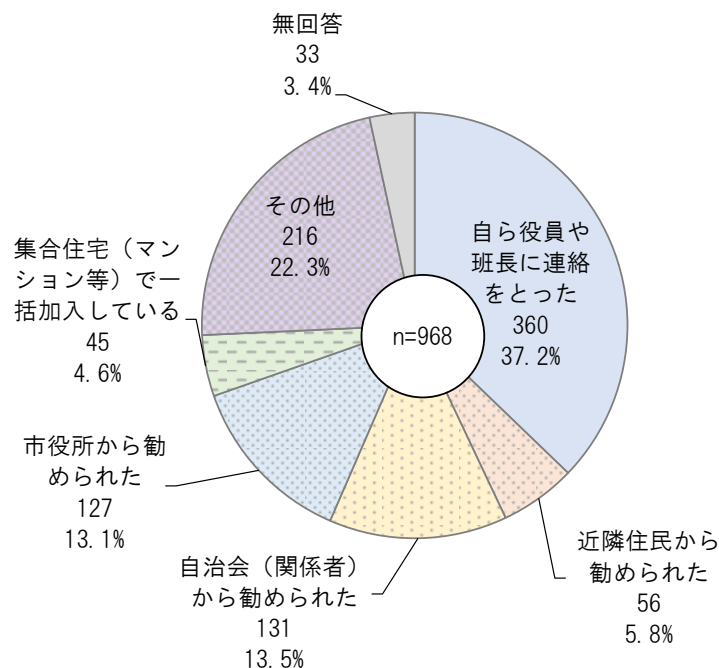
「自ら役員や班長に連絡をとった」が 37.2%で最も多い。次いで、「自治会（関係者）から勧められた（13.5%）」「市役所から勧められた（13.1%）」となっている。また、「その他」と回答した人が 22.3%と 2 番目に多く、親、先祖、昔から加入していたなど、「そもそも加入する前提だった」という意見も多くあがっている。

年齢別でみると、20 歳代は「市役所から勧められた」「集合住宅（マンション等）で一括加入している」が多く、30 歳代は「市役所から勧められた」が多く、40 歳代以上は「自ら役員や班長に連絡をとった」が多くなっている。

住居の種類別でみると、「一戸建て持ち家」「一戸建て貸家」は「自ら役員や班長に連絡をとった」が多く、「分譲マンション」「社宅・寮」「公営住宅」は「集合住宅（マンション等）で一括加入している」が多く、「賃貸アパート・マンション」は「市役所から勧められた」が多くなっている。

居住年数別でみると、5 年未満は「市役所から勧められた」が多く、「5 年以上」は「自ら役員や班長に連絡をとった」が多くなっている。

居住地域別でみると、本土地域（川内、樋脇、入来、東郷、祁答院）は「自ら役員や班長に連絡をとった」が多く、甑島地域（里、上甑、下甑、鹿島）は「自治会（関係者）から勧められた」が多くなっている。また、どの地域においても「その他」と回答した人が多く存在している。



問 12-2 自治会に加入してよかったと思うことは何ですか。あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。（複数回答）

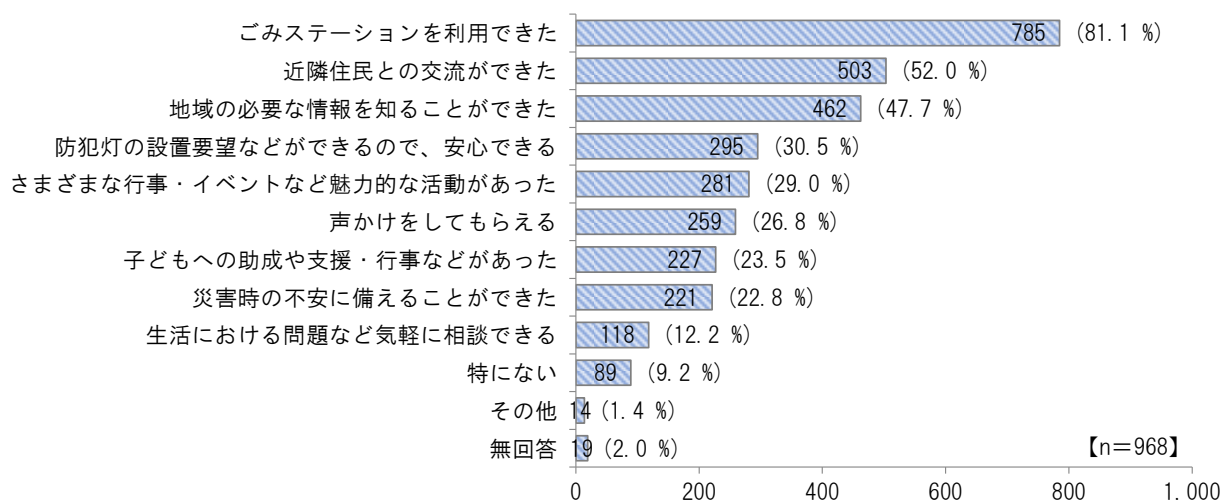
「ごみステーションを利用できた」が 81.1%で最も多い。次いで、「近隣住民との交流ができた（52.0%）」「地域の必要な情報を知ることができた（47.7%）」となっている。

年齢別でみると、60 歳代以上は「近隣住民との交流ができた」「地域の必要な情報を知ることができた」が 50 歳以下と比べると多くなっている。特に 80 歳代以上は「防犯灯の設置要望などができるので、安心できる」「声かけをしてもらえる」「さまざまな行事・イベントなど魅力的な活動があった」「災害時の不安に備えることができた」なども加入してよかったと思うこととして他の年齢の人より多くあげている。一方で、年齢が下がるにつれ、「ごみステーションを利用できた」以外の選択肢を上げている人が少なくなる傾向がみられる。

住居の種類別でみると、「分譲マンション」「賃貸アパート・マンション」「社宅・寮」は、「ごみステーションが利用できた」をあげる人の割合が他の住居の種類よりも小さくなっている。

居住年数別でみると、20 年以上は 20 年未満と比べると、「近隣住民との交流ができた」「地域の必要な情報を知ることができた」が多くなっている。特に 30 年以上は「防犯灯の設置要望などができるので、安心できる」「さまざまな行事・イベントなど魅力的な活動があった」「声かけをしてもらえる」「子どもへの助成や支援・行事などがあった」なども加入してよかったと思うこととして他の居住年数の人より多くあげている。一方で、居住年数が下がるにつれ、「ごみステーションを利用できた」以外の選択肢を上げている人が少なくなる傾向がみられる。

居住地域別でみると、甑島地域（里、上甑、下甑、鹿島）は「ごみステーションが利用できた」をあげる人の割合が本土地域よりも小さくなっている。



問 12-3 自治会に加入して大変だな、または不満だと思うことは何ですか。あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。（複数回答）

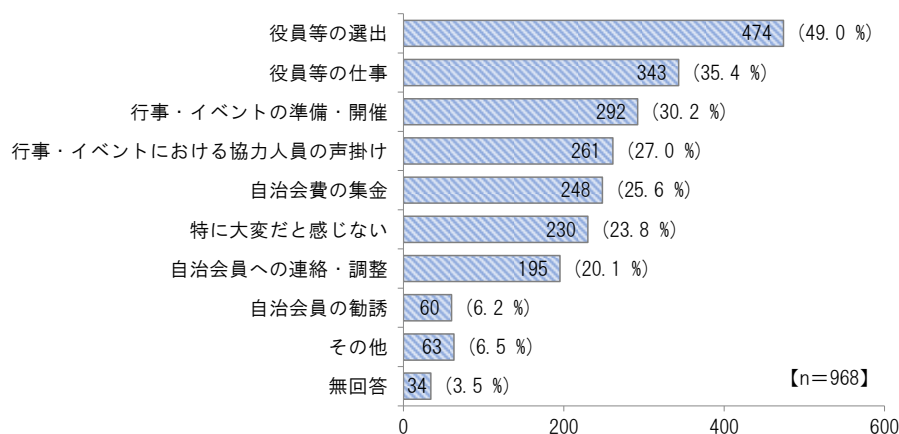
「役員等の選出」が 49.0%で最も多い。次いで、「役員等の仕事（35.4%）」「行事・イベントの準備・開催（30.2%）」となっている。

年齢別でみると、40 歳代は「役員等の仕事」「行事・イベントの準備・開催」「自治会費の集金」「行事・イベントにおける協力人員の声掛け」をあげる人の割合が他の年齢と比べると大きく、大変・不満に感じていることが多い傾向にある。一方で、80 歳代は「特に大変だと感じない」が多くなっている。

住居の種類別でみると、「公営住宅」は「自治会費の集金」が他の住居の種類と比べると多く、「社宅・寮」は、「特に大変だと感じない」が多くなっている。

居住年数別でみると、5 年以上 10 年未満は「役員等の仕事」「自治会費の集金」「行事・イベントの準備・開催」「自治会員への連絡・調整」をあげる人の割合が他の居住年数と比べると大きく、大変・不満に感じるが多くなっている。一方で、5 年未満は「特に大変だと感じない」が多くなっている。

居住地域別でみると、東郷地域は「行事・イベントの準備・開催」「役員等の仕事」「自治会費の集金」「行事・イベントにおける協力人員の声掛け」をあげる人の割合が他の地域と比べると大きく、大変・不満に感じていることが多い傾向にある。一方で、甑島地域（里、上甑、下甑、鹿島）は、「特に大変だと感じない」が多くなっている。



問 12-4 自治会回覧板で配布される広報紙等をデジタル配信し、アプリ等を通じて閲覧できるようにした場合に利用されますか（あてはまる番号1つに○）。

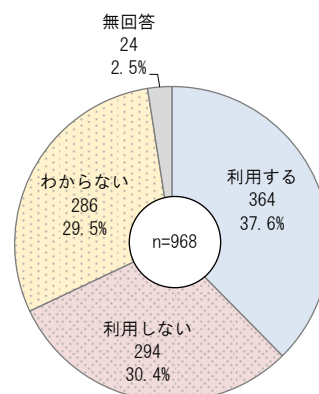
「利用する」が 37.6%、「利用しない」が 30.4%、「わからない」が 29.5%となっている。

年齢別でみると、60 歳以下は「利用する」が多く、70 歳以上は「利用しない」が多くなっている。

住居の種類別でみると、「一戸建て持ち家」「一戸建て貸家」「分譲マンション」「賃貸アパート・マンション」は「利用する」が多く、「公営住宅」は「利用しない」が多く、「社宅・寮」は「わからない」が多くなっている。

居住年数別でみると、30 年未満は「利用する」が多く、30 年以上は「利用しない」が多くなっている。

居住地域別でみると、川内、東郷、樋脇地域は「利用する」が多く、祁答院地域は「利用しない」が多く、入来地域は「わからない」が多くなっている。甑島地域（里、上甑、下甑、鹿島）は、「利用しない」もしくは「わからない」が多くなっている。



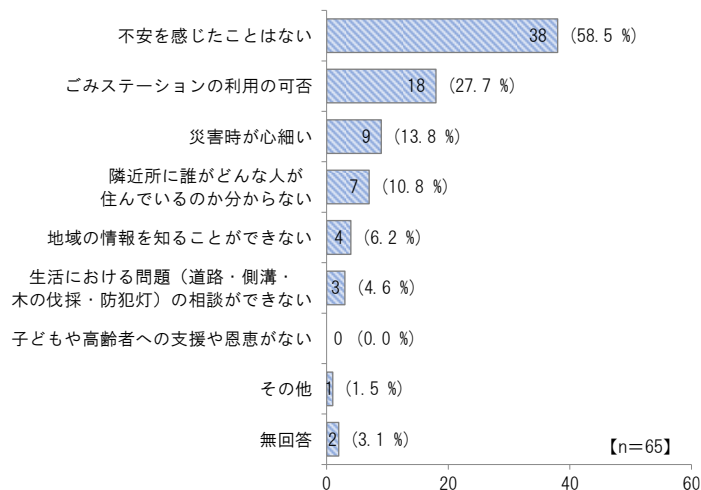
【問 11 で「2 一度も加入したことがない」と回答された方におたずねします。】

問 13-1 自治会に加入していないことにより、不安を感じたことがありますか。あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。(複数回答)

「不安を感じたことはない」が 58.5% で最も多い。次いで、「ごみステーションの利用の可否(27.7%)」「災害時が心細い(13.8%)」となっている。

年齢別でみると、70 歳代は「災害時が心細い」「ごみステーションの利用の可否」が他の年齢と比べると多くなっている。

住居の種類別でみると、「分譲マンション」は「不安を感じたことはない」、「社宅・寮」は「ごみステーションの利用の可否」が他の住居の種類と比べると多くなっている。

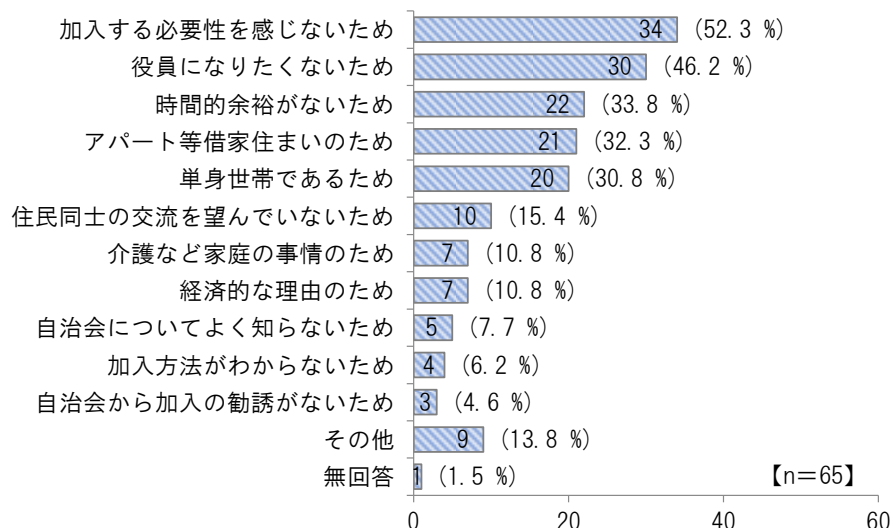


問 13-2 自治会に一度も加入したことがない理由は何ですか。あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。(複数回答)

「加入する必要性を感じないため」が 52.3% で最も多い。次いで、「役員になりたくないため(46.2%)」「時間的余裕がないため(33.8%)」となっている。

年齢別でみると、30 歳代は「時間的余裕がないため」が他の年齢と比べると多く、40 歳代～70 歳代は「役員になりたくないため」が多くなっている。

住居の種類別でみると、「一戸建て持ち家」「一戸建て貸家」は「役員になりたくないため」、「賃貸アパート・マンション」は「アパート等借家住まいのため」が他の住居の種類と比べると多くなっている。

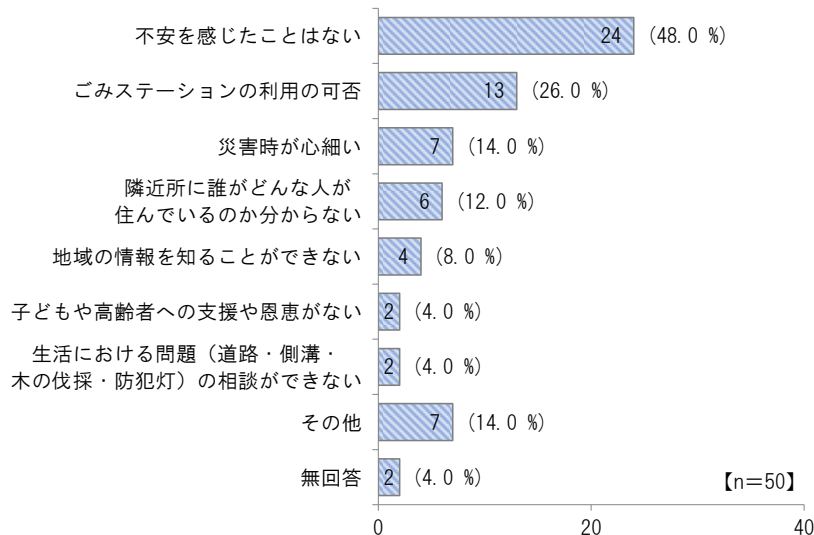


【問 11 で「3 過去に加入していた」と回答された方におたずねします。】

問 14-1 自治会に加入していないため、不安を感じたことがありますか。あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。(複数回答)

「不安を感じたことはない」が 48.0%で最も多い。次いで、「ごみステーションの利用の可否(26.0%)」「災害時が心細い(14.0%)」となっている。

年齢別でみると、50 歳代は「ごみステーションの利用の可否」、60～70 歳代は「災害時が心細い」が他の年齢と比べると多くなっている。

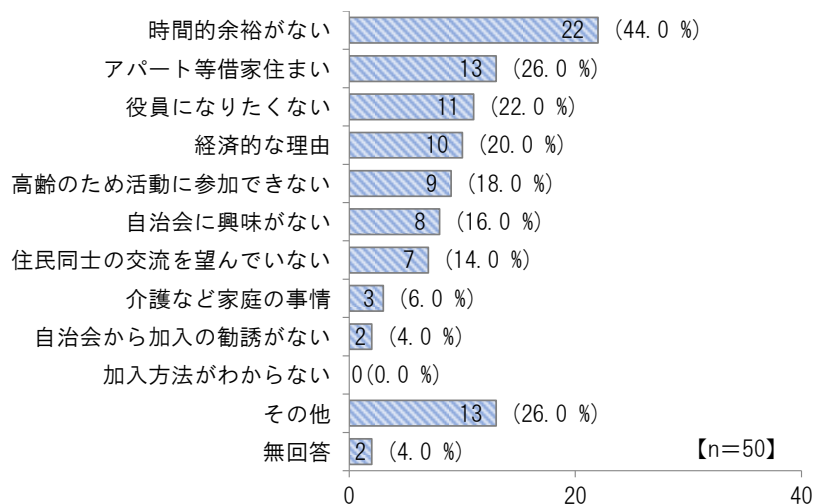


問 14-2 自治会に現在加入していない理由は何ですか。あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。(複数回答)

「時間的余裕がない」が 44.0%で最も多い。次いで、「アパート等借家住まい(26.0%)」「役員になりたくない(22.0%)」となっている。

年齢別でみると、70 歳以上は「高齢のため活動に参加できない」が他の年齢と比べると多くなっている。

住居の種類別でみると、「賃貸アパート・マンション」「一戸建て貸家」は「アパート等借家住まい」が他の住居の種類と比べると多くなっている。



問 15 どのような取組があれば、あなたは自治会に加入しやすくなると思いますか。とくに大切な取組を最大3つまで選び、あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答）

「家庭の事情に応じ、一定期間役員や班長を免除してもらえる」が42.2%で最も多い。次いで、「自治会における清掃活動などが強要されない（35.1%）」「家庭の事情に応じ、自治会費を免除又は減免される仕組みがある（17.8%）」となっている。

年齢別でみると、20～30歳代は「自治会における清掃活動などが強要されない」「家庭の事情に応じ、自治会費を免除又は減免される仕組みがある」「市のホームページや自治会のSNSなどで自治会加入の申込みが簡単にできる仕組みがある」が他の年齢と比べると多くなっている。

住居の種類別でみると、「賃貸アパート・マンション」「一戸建て貸家」は「自治会における清掃活動などが強要されない」が他の住居の種類と比べると多くなっている。

居住年数別でみると、5年未満は「自治会における清掃活動などが強要されない」が他の居住年数と比べると多くなっている。

